

講義名称	日本語教授法Ⅱ	担当教員名	森田 恵
科目群	人文学 (HUM)		
科目区分等	日本語 CA7 DI5	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	HUM182

授業のキーワード	日本語 文法 指導法
授業の概要	「国語文法」とは異なる「日本語文法」を日本語学習者の視点で考えます。様々な日本語の表現を、学習者がどうやって理解し、使えるようになるかを考えます。
期待される学習成果 (目標)	1. 普段使っている日本語を文法的に見つめ直すことで、自分の表現力が向上します。 2. 日本語学習者に文法をわかりやすく説明することができます。 3. 言葉を観察・分析し、説明する力がつきます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	日本語文法とは	国語文法と日本語文法を比較しながら、日本語の「文型」を考えます。
2	日本語の品詞	言葉が持つ文法的な性質を知り、「品詞」の見分け方を学びます。
3	助詞	学習者が間違いやすい助詞の用法を学びます。
4	名詞	名詞文と指示詞（こそあど）について学びます。
5	形容詞	形容詞の種類と使い方の注意点を学び、教え方を考えます。
6	動詞	動詞と助詞の組み合わせ、「存在文」の使い方を学びます。
7	動詞の活用 1	活用のグループ分けと活用形の作り方を学びます。
8	動詞の活用 2	丁寧体と普通体について / 中間確認テスト
9	自動詞・他動詞	自動詞と他動詞の意味的特徴や用法の違いを考えます。
10	時間を表す表現	日本語の時制の表し方、「～ている」の意味・用法を学びます。
11	立場を表す表現	受身文と使役文について、文の構造、意味の違いについて学びます。
12	授受表現	「あげる」「もらう」「くれる」の使い分けを考えます。
13	敬語	敬語表現とその使用場面を考えます。
14	指導法と発表準備	実際の指導方法を考え、「模擬レッスン」の準備をします
15	発表と まとめ	「模擬レッスン」の発表と講評／講義全体の振り返り

定期試験	中間確認テスト：選択式 期末試験：記述式
授業時間外学習	予習：毎回、次の講義テーマに関する質問を出しますから、考えてくる（30分～1時間） 復習：講義内容について、テキストの該当箇所を読んで理解を深める。復習課題
評価方法	授業取り組み姿勢 20% 中間確認テスト 20% 最終発表 20% 期末試験 40% テストは採点し、返却します。
使用する教科書 (必ず購入してください)	「新・はじめての日本語教育 1 日本語教育の基礎知識 増補改訂版」 高見澤孟監修 アスク出版
参考文献	必要に応じ後日指示します。